

---

## はじめに

書籍や摺物が文化的所産であることを否定する人間はいないであろう。それらはそのまま時代の文化的様相を生々しく語りかけてくる。そして、それらが、どのように制作され、流通し、また享受されたか、書籍・摺物をめぐるあらゆる局面を捉え、当時の社会の中に正確に位置づけることによって、書籍・摺物は、時代を立体的に浮かび上がらせ、時代の流れとその展開のメカニズムをも垣間見せてくれる可能性をもっている。

これらは、「史料」としては頼りないちっぽけなものである。しかし、小さなものほど、時代の人々の日常、深部に入り込んでいたものである。これら個別のかつ断片的な「史料」は、これまでの歴史研究が苦手としていたところにわれわれを導いてくれたりもしよう。

というわけで、書籍・摺物を対象とした研究、また書籍・摺物を資料として活用した研究は、近年ますます盛んである。書誌学は言わずもがな、国文学や日本史学、また思想史学や教育史学をはじめ、さまざまな学問領域において、その資料的有効性についての認識が高まったがゆえである。それぞれの領域が蓄積してきた成果は、広く共有されるべき財産であろう。

そのような思いで始めたのが、本書の基となる作業であった。始めた作業はきりがなく、継続もなかなかしんどいが、かといってやめてしまうふんぎりを発動するのも、けっこうなエネルギーを要しそうであった。1997年9月に『近世書籍研究文献目録』をぺりかん社から刊行し、それに増補訂正を加えたものを、2007年3月に『<sup>増補</sup>改訂近世書籍研究文献目録』と題して同社から刊行した。増補改訂版は、前版にあった著者索引を廃したにも関わらず798ページの厚冊となった。

それから7年ほどの間、増補改訂版刊行以後に知り得た文献を、自

刊の年刊雑誌『書籍文化史』第9集(2008年1月)から第15集(2014年1月)に、補遺として公表してきた。この補遺のデータ量も相当なものになってきた。それは、すなわち増補改訂版に依るのみでは心許無い状況になってきたと同時に、『書籍文化史』掲載の補遺情報をいちいちひっくり返して検するものはなほだ億劫なこととなってきたということも意味しよう。

そこで、増補改訂版刊行以後収集のデータを一冊にまとめ、『<sup>近世</sup>近代初期書籍研究文献目録』として編むこととした。すなわち増補改訂版と本書との二冊があれば、しばらくはそこそこの用には足りるかと思考する。惰性の産物ではあるが、諸分野での活用、研究の今後の深化を楽しみにしている。

\*

\*

さて、ここで改めて利用に際してあらかじめ御承知いただいておりますことを、くどいようであるが再度申し述べる。

それは、この文献目録は、かならずしも検索の便を目指して編んだものではないということである。目指す特定の文献に至りつくためであれば、あるいは、特定の著者の論文を把握したいのであれば、このようなアナログなイライラ目録など不要なのである。昨今の世の中の急速な進歩は、目的的な検索を容易にした。CiNii(NII学術情報ナビゲータ)や国文学研究資料館の電子資料室の「国文学論文目録データベース」、また国立国会図書館の電子図書館などで検索するのが手取り早い。リポジトリを充実させている機関もかなり増加してきており、論文そのものが瞬時に入手可能であることも多い。

この文献目録は、それらに比べると面倒くさい代物である。利便性や速さを提供するよりも、逡巡、迷子に付き合わせるものである。検索の頼りは、目次しかない。目次をあっちこっちうろろうしながら本

---

文をひっくり返すことが要求される。しかも、罫にも似て、似たような項目があっちこっちに立項してあり、じっさい、一つの文献があっちこちに振り分けられているのである。あちこち目配りして用心しながら慎重に拾い出す必要があるだろう。ねらいは、あっちこちとさまようことによって、他の文献、また近接する研究の文献が、眼の端に自然と飛び込んでくることにある。目的的な検索からはこぼれそうなものにも気付いてほしいという余計な御世話を焼いてみたわけである。この大きな御世話、編者がこのようにこの文献を見なしたというにすぎない分類であるということも、油断できないところかもしれない。信用してはいけない。ちょっとでもかすりそうなところは、漏らさずあたつくさいものを拾い集めるのがよいであろう。

検索システムを備えたデータベースとして、ウェブ上に公開することを勧めてくださった方も数多い。しかし、上記の目論みが優先、意地でも紙から離れてやらないのである。

2014年7月吉祥日、鈴木俊幸記

sample

# 目次

はじめに	(1)	3.3 中世までの印刷	41
項目について	(27)	3.4 近世の印刷(通史)	41
凡例	(31)	3.5 近世初期の印刷	41
		3.6 近世末期の印刷	42
		3.7 近代初頭までの印刷	42
		3.8 各地域における印刷	45
		【大坂】	45
		【名古屋】	45
		【江戸(東京)】	45
		【駿河】	45
		【横浜】	45
		【武州多摩】	45
		【信濃】	45
		【下野】	46
		【岩代】	46
		【羽前】	46
		【陸奥・仙台】	46
		【加賀】	46
		【越中】	46
		【播磨】	47
		【安芸】	47
		【紀伊】	47
		【伊予】	47
		【肥前】	47
		【薩摩】	47
		【北海道】	47
		3.9 整板印刷	47
		【彩色摺】	48
		【合羽摺】	48
		【機械木版印刷】	49
		【木口版】	49
		【正面版】	49
		【浮世絵】	49
		【料紙の印刷】	50
		3.10 活字印刷	50
		【きりしたん版】	50
		【古活字版】	51
1. 総合	1		
2. 環境	3		
2.1 思潮	4		
【歴史認識・空間認識】	7		
【近代】	8		
2.2 経済	8		
2.3 家・生活・家計	9		
2.4 諸芸・諸術	10		
2.5 識字	12		
【近代】	14		
2.6 学習・教育・教化	15		
【官学】	20		
【藩校】	20		
【郷校】	23		
【私塾】	24		
【手習塾】	26		
【女子教育】	32		
【心学講舎】	32		
【医学教育】	32		
【近代教育】	32		
2.7 文字環境	35		
2.8 通信・運輸	39		
3. 印刷	40		
3.1 印刷史(通史)	40		
3.2 上代の印刷	40		

【古活字後の木活字版】	54	【杉村治兵衛】	74
【金属活字版】	54	【羽川珍重】	74
【出島版・長崎版】	58	【西川祐信】	74
3.11 銅版印刷	58	【奥村政信】	74
3.12 石版印刷	60	【英派】	75
3.13 印刷所	61	【橋守国】	75
3.14 新聞の印刷	62	【月岡雪鼎】	75
		【鈴木春信】	75
<b>4. 板木と活字</b>	63	【富川房信】	75
4.1 板木	63	【鳥居清信】	76
【摺仏・印仏・護符の板木】	64	【鳥居清倍】	76
【経本・仏書の板木】	64	【鳥居清長】	76
【学術・教育関係書の板木】	64	【鳥居清経】	76
【医書の板木】	65	【北尾重政】	76
【文芸関係書の板木】	65	【北尾政美】	76
【芸能関係書の板木】	65	【勝川春章】	76
【一枚摺の板木】	66	【喜多川歌麿】	77
【官版・藩版等の板木】	66	【東洲斎写楽】	77
【書買版の板木】	66	【葛飾北斎】	77
【寺社所蔵の板木】	66	【勝川春好】	77
【慶応義塾版の板木】	67	【勝川春亭】	77
【正面版の板木】	67	【長谷川雪旦】	77
【入木・改刻】	67	【柳々居辰斎】	77
【板木の保管・管理、相続】	67	【溪斎英泉】	77
【板木の売買、板木市】	68	【菊川英山】	78
4.2 活字	68	【喜多川美丸(二代北尾重政)】	78
【木活字】	68	【柳川重信】	78
【金属活字】	70	【柳川重信(二代)】	78
		【歌川派】	78
<b>5. 諸 職</b>	72	【歌川豊春】	78
5.1 著編者	72	【歌川豊国(初代)】	78
【書家】	72	【歌川豊広】	78
5.2 画工	72	【歌川国直】	78
【手間賃】	73	【歌川国春】	78
【菱川師宣】	73	【歌川国丸】	78
【菱川派】	73	【歌川広重】	79
【宮川長春】	73	【歌川広重(二代・三代)】	79
【近藤清春】	74	【歌川国政】	79
		【歌川国長】	79
		【歌川貞秀】	79

【歌川国周】	80	木村嘉平・徳太郎	88
【歌川豊国(二代)】	80	5.7 摺物師・摺物所	88
【歌川豊国(三代)】	80	5.8 摺師	89
【歌川国芳】	80	5.9 表紙屋・本仕立屋	89
【歌川芳兼】	81	5.10 製本所・製本師(近代)	89
【歌川国利】	81		
【歌川芳艶】	81	<b>6. 本屋</b>	90
【歌川芳藤】	81	6.1 店舗	90
【楊洲周延】	81	6.2 草紙屋・書本屋	91
【月岡芳年】	81	6.3 小売	91
【尾形月耕】	81	【唐本屋】	91
【豊斎】	81	【絵草紙屋】	91
【小林清親】	81	【行商本屋】	92
【小林永濯】	82	6.4 古本屋	92
【河鍋曉斎】	82	6.5 貸本屋	92
【長谷川竹葉】	82	【大野屋惣八】	94
【水野年方】	82	【近代】	94
【樋口探月斎守保】	82	6.6 版元	96
【上方の画工】	82	【板木屋・経師屋・表紙屋】	96
【春川五七】	82	【曆】	96
【丹羽桃溪】	82	【地図】	96
【宮本君山】	82	6.7 京都の本屋	97
【北尾雪坑斎】	83	【経師屋】	97
【松川半山】	83	【仲間】	97
【斎藤秋圃】	83	【赤井長兵衛】	97
【流光斎】	83	【荒川三郎兵衛】	97
【春好斎北洲】	83	【阿波屋】	97
【春梅斎北英】	83	【出雲寺和泉】	97
【松好斎】	83	【井筒屋庄兵衛】	98
【柳斎重春】	83	【柳枝軒茨木多左衛門】	98
【寿好堂よし国】	83	【上村平左衛門】	98
【菱川清春】	83	【浦井徳右衛門】	98
【戯画堂芦ゆき】	83	【江島屋市郎左衛門】	98
5.3 銅版画家・刻師	83	【恵比須屋市右衛門】	99
5.4 石版師	86	【近江屋卯兵衛】	99
5.5 筆耕	86	【柏原屋勘右衛門】	99
5.6 彫工	87	【川勝五郎右衛門】	99
【板木屋・板木屋仲間】	88	【勝田善助】	99
【浮世絵の彫工】	88	【金屋平右衛門】	99
【字彫の彫工】	88		

【河南四郎右衛門】	99
【菊屋喜兵衛】	99
【菊屋七郎兵衛・菊屋長兵衛】	99
【菊舎太兵衛】	100
【菊屋安兵衛】	100
【河野道清】	100
【小嶋弥左衛門】	100
【桜井屋次兵衛】	100
【杉田勘兵衛尉】	100
【杉田良庵玄与】	100
【銭屋佐々木惣四郎】	100
【草紙屋加兵衛】	101
【大黒屋太郎右衛門】	101
【大文字屋勘兵衛・仙蔵】	101
【大文字屋七郎兵衛】	101
【大文字屋要助】	101
【竹原屋好兵衛】	101
【橘屋治兵衛】	101
【谷村豊左衛門】	102
【田原勘兵衛】	102
【田原仁左衛門】	102
【丁子屋西村九郎右衛門】	102
【丁子屋七兵衛】	102
【寺田与平次】	102
【中野市右衛門・小左衛門・是誰・市左衛門】	102
【永田調兵衛】	102
【長村半兵衛】	102
【西沢正本屋】	102
【西村市郎右衛門】	102
【西村九郎右衛門】	102
【八文字屋八左衛門】	102
【菱屋治兵衛】	103
【菱屋重兵衛】	103
【菱屋友五郎】	103
【菱屋孫兵衛】	103
【風月庄左衛門】	103
【文政堂藤井佐兵衛】	103
【松岡作左衛門】	104
【村上勘兵衛】	104

【善屋勘兵衛】	104
【山城屋佐兵衛】	104
【大和屋伊兵衛】	104
【吉田屋九郎右衛門】	104
【吉田屋新兵衛】	104
【吉野屋勘兵衛】	104
【吉野屋四郎右衛門】	105
【吉野屋為八】	105
【万屋作右衛門】	105
【金尾文淵堂】	105
6.8 大坂の本屋	105
【近代】	106
【書物屋仲間】	106
【草紙屋中】	106
【ほんこや(絵草紙屋)】	106
【池田屋三郎右衛門】	106
【石川屋和助】	107
【江嶋屋庄六】	107
【扇屋利助】	107
【岡田三郎右衛門】	107
【加島屋清助】	107
【柏原屋清右衛門・与左衛門・佐兵衛】	107
【勝尾屋六兵衛】	107
【河内屋一統】	107
【河内屋喜兵衛】	107
【河内屋吉兵衛】	108
【河内屋佐助(三木佐助)】	108
【河内屋正助(松田正助)】	108
【河内屋真七】	108
【河内屋新次郎】	108
【河内屋太助】	108
【河内屋忠七】	108
【河内屋茂兵衛】	108
【吉文字屋】	109
【京屋浅次郎】	109
【桑名屋甚兵衛】	109
【塩屋三郎兵衛】	109
【塩屋忠兵衛】	109
【塩屋長兵衛】	109



【鹿田静七】	109	【岡田屋嘉七】	115
【正本屋利兵衛】	109	【岡本利兵衛】	115
【敦賀屋九兵衛】	109	【奥村喜兵衛】	115
【天満屋源次郎】	110	【奥村屋・奥村源六】	115
【奈良屋長兵衛】	110	【尾張屋清七】	115
【西沢正本屋】	110	【柏屋仁右衛門・与市】	115
【表紙屋米吉】	110	【上総屋岩藏】	115
【深江屋太郎兵衛】	110	【上総屋利兵衛】	116
【藤屋弥兵衛】	110	【金子井兵衛】	116
【誉田屋久兵衛】	110	【亀屋又右衛門】	116
【本屋為助】	110	【小林(須原屋)新兵衛】	116
【升屋大藏・久藏】	110	【坂川屋平四郎】	116
【松浦善右衛門】	110	【讃岐屋藤兵衛】	116
【毛利田庄太郎】	110	【杉田勘兵衛尉】	116
【綿屋喜兵衛】	111	【須原屋伊八】	116
【綿屋平兵衛】	111	【須原屋市兵衛】	116
【和田正】	111	【須原屋佐助】	117
【脩道館】	111	【須原屋三郎兵衛】	117
【駸々堂】	111	【須原屋善五郎】	117
【青木嵩山堂】	111	【須原鉄二】	117
6.9 江戸(東京)の本屋	111	【須原屋茂兵衛】	117
【書物問屋、書物問屋仲間】	111	【高津屋伊助】	118
【地本問屋】	112	【高橋與惣次】	118
【団扇問屋】	113	【竹内孫八】	118
【出雲寺】	113	【丹波屋理兵衛】	118
【和泉屋吉兵衛】	113	【丁子屋平兵衛】	118
【和泉屋市兵衛】	113	【葛屋重三郎】	118
【和泉屋庄次郎】	114	【鶴屋喜右衛門】	119
【伊勢市】	114	【富田屋新兵衛】	119
【伊勢屋吉十郎】	114	【富野松雲】	119
【伊勢屋忠右衛門】	114	【中山清七】	120
【伊勢屋忠兵衛】	114	【西宮弥兵衛】	120
【鱗形屋三左衛門・孫兵衛】	114	【西村屋与八】	120
【越前屋長次郎】	115	【西村源六】	120
【榎本宗右衛門】	115	【西村祐藏】	120
【恵比須屋庄七・仁兵衛】	115	【野田太兵衛】	120
【近江屋五平】	115	【英文藏】	120
【近江屋与兵衛】	115	【花屋久次郎】	120
【大海屋一貞】	115	【播磨屋新七】	120
【大坂屋半藏】	115	【平林庄五郎】	120

【福沢屋諭吉】	121
【袋屋亀次郎】	121
【伏見屋善六】	121
【藤岡屋慶治郎】	121
【堀野屋仁兵衛】	121
【本問屋】	121
【松会市郎兵衛・三四郎】	121
【松本新六】	122
【松本善兵衛】	122
【松本平助】	122
【丸屋小兵衛】	122
【丸屋徳藏】	122
【三河屋喜兵衛】	122
【三河屋鉄五郎】	122
【都沢錦集堂】	122
【村田屋治郎兵衛】	122
【森屋治兵衛】	122
【山形屋市郎右衛門】	123
【山崎屋金兵衛】	123
【山城屋】	123
【大和屋清兵衛】	123
【山本九左衛門】	123
【山本平吉】	123
【吉田屋小吉】	123
【万屋清兵衛】	123
【万屋太治右衛門】	123
【万屋兵四郎】	123
【万屋大倉孫兵衛】	124
【玄々堂松田敦朝】	124
【兎屋望月誠】	124
【江沢金五郎】	124
【大川屋錠吉】	124
【岸田吟香(楽善堂)】	124
【金玉出版社】	125
【慶應義塾出版社】	125
【小林新造(いろは屋)】	125
【近藤活版所(近藤出版部)】	125
【十字屋原胤昭】	125
【集成館】	125
【同益出版社】	125

【東京稗史出版社】	125
【博聞社】	126
【博文館】	126
【博文堂(原田庄左衛門)】	126
【長谷川武次郎】	126
【文禄堂】	127
【松井栄吉】	127
【丸屋善七】	127
【瑞穂屋卯三郎】	127
【有隣堂穴山篤太郎】	127
【東陽堂】	127
【有斐閣】	127
【和田篤太郎(春陽堂)】	127
【三省堂】	128
6.10 名古屋の本屋	128
【伊勢屋忠兵衛】	128
【永楽屋東四郎】	128
【玉沢屋新七】	129
【菱屋金兵衛】	129
【風月堂孫助】	129
6.11 その他の地方の本屋	129
【大和】	129
絵図屋庄八	129
【攝津】	130
【伊勢】	130
柏屋兵助	130
【三河】	130
【駿河】	130
採選亭	130
【遠江】	130
【甲斐】	130
【甲斐—藤屋内藤伝右衛門】	130
【相模】	131
【武蔵】	131
【同横浜】	131
佐野屋富五郎	131
歌川国松	131
金港堂	131
丸屋善八→6.9 江戸(東京)の本屋	131
ジョゼフ彦	131

日の出屋新聞店	131	7.2 中古から中世の出版	140
万字屋	132	7.3 近世出版史通史	141
よこはま=バイブル=プレス	132	7.4 近世初期の出版	142
【常陸】	132	7.5 近世前期の出版	144
須原屋安次郎	132	7.6 近世中期の出版	145
咸章堂巖田健文	132	7.7 近世後期の出版	145
【美濃】	132	7.8 近世末から近代初頭にかけての出版	145
【信濃】	132	7.9 近代の出版	146
高美屋甚左衛門	133	【予約出版】	149
蔦屋伴五郎	133	【分版】	150
吟天社	133	7.10 開版経緯	150
【陸奥】	133	【翻訳】	154
仙台	133	【校正】	154
舞田屋理作	134	【開版資金・入銀】	155
【出羽】	134	【近代】	155
【越前】	134	7.11 著編者・作者・画工	156
【加賀】	134	【編纂・執筆】	156
【越中】	134	【翻訳】	158
【越後】	135	【原稿・校本】	158
【播磨】	135	【潤筆】	159
【備前】	135	7.12 和刻	160
【備中】	135	7.13 開版経費	162
【安芸】	135	【近代】	163
【長門一山城屋彦八一】	135	7.14 出版部数・時期	163
【紀伊】	135	7.15 施印・施版	163
帯屋伊兵衛	136	7.16 求版	164
坂本屋大二郎・喜一郎	136	7.17 修訂	164
【阿波】	137	【近代】	166
【讃岐】	137	7.18 京都の出版	167
【出雲】	137	【近代】	167
【鳥取】	137	7.19 大坂の出版	167
【筑前・筑後】	137	【近代】	168
【肥前】	137	7.20 江戸の出版	168
【薩摩】	137	【近代】	168
6.12 新聞社	137	7.21 名古屋の出版	168
6.13 雑誌社	138	【近代】	169
7. 出版	139	7.22 その他の地方の出版	169
7.1 出版史	139	【大和】	170
		【和泉】	170

【摂津】	170
【伊勢】	170
【遠江】	170
【駿河】	170
【甲斐】	171
【伊豆】	171
【相模】	171
【武蔵】	171
【武蔵一金沢八景】	171
【武蔵一横浜】	171
【武蔵一埼玉・多摩】	172
【上総・下総】	172
【常陸】	172
【近江】	172
【美濃】	172
【信濃】	173
【上野】	175
【下野】	175
【磐城】	175
【会津】	175
【陸奥一仙台】	175
【陸奥一南部・津軽】	176
【羽前】	176
【羽後】	176
【越前】	176
【加賀】	176
【越中】	177
【越後】	178
【因幡】	178
【播磨】	178
【芸備】	178
【周防・長門】	178
【紀伊】	179
【阿波】	179
【讃岐】	179
【伊予】	179
【土佐】	179
【筑前・筑後】	179
【豊後】	180
【肥前】	180

【肥後】	180
【日向】	180
【薩摩】	180
【蝦夷・北海道】	181
【琉球】	181
【海外】	181
7.23 勅版	181
7.24 徳川家・徳川幕府による出版	182
【伏見版・駿河版】	182
【昌平鬢の出版】	182
【蕃書調所・洋学所・開成所の出版】	183
【和学講談所の出版】	183
【沼津兵学校の出版】	183
7.25 代官・代官所の出版	183
7.26 大名・藩・藩校の出版	184
【藩校の出版】	184
【津藩】	184
【尾張藩】	184
【古河藩】	184
【彦根藩】	184
【岩村藩】	185
【松本藩】	185
【水戸藩】	185
【安中藩・板倉勝明】	185
【下野諸藩】	185
【白河藩・松平定信】	185
【仙台藩】	186
【津軽藩】	186
【大野藩】	186
【加賀藩】	186
【村上藩】	186
【長岡藩】	186
【新発田藩】	186
【紀州新宮】	186
【長州藩】	187
【徳島藩】	187
【熊本藩】	187
【薩摩藩】	187
【松前藩】	187
7.27 明治政府による出版	188

【外務省】	188	【禅宗】	203
【文部省】	188	【略縁起】	203
【開拓使】	189	【近代の仏教関係書】	203
7.28 道府県による出版	189	7.37 神書	204
7.29 寺院による出版・蔵版	189	7.38 キリスト教関係書	204
【高野山】	190	7.39 漢籍	205
【根来寺】	190	7.40 漢学書・儒書	206
【東福寺】	190	7.41 考証学関係書	206
【五山】	190	7.42 和学書	206
【浄土真宗諸寺】	190	【宣長学】	207
本願寺	191	【篤胤学】	208
【黄檗宗寺院】	191	7.43 洋学書	208
【要法寺】	191	【外国語学書】	209
【能登総持寺】	191	【兵学書】	209
【寛永寺】	191	【洋学史】	209
【縁起摺物・境内絵図等】	192	7.44 医書	209
7.30 僧侶による出版	192	【近代】	210
7.31 郷校・私塾の出版	192	7.45 本草書・博物書	210
7.32 私人による出版	192	7.46 史書	211
【木村兼葭堂】	193	7.47 法律書	211
【松崎慊堂】	193	7.48 政治に関する出版物	211
【佐久良東雄】	193	【農政書】	211
【外国人】	193	7.49 字書・辞書	211
7.33 貸本屋による出版	194	7.50 農書	212
7.34 印刷様式別	194	【蚕書】	212
【きりしたん版】	194	【救荒書】	213
【古活字版】	194	7.51 地誌	213
【古活字後の木活字版】	197	【名所図会】	213
【金属活字版】	198	【外国】	214
【銅版】	199	【道中記】	214
【整版(近代)】	199	【買物案内】	214
7.35 叢書	199	7.52 暦・暦書・占卜書	214
【群書類従】	199	【暦】	214
7.36 仏書	199	7.53 名鑑	215
【経本】	199	【武鑑】	215
【真言宗】	201	【公家鑑】	216
【日蓮宗】	201	【吉原細見】	216
【天台宗】	202	7.54 算法書	216
【浄土宗】	202	7.55 教育関係書	216
【真宗】	202	【往来物】	216

【文範集】	216	7.61 一枚摺	233
【善書】	216	【地図・絵図】	233
【心学関係書】	217	【浮世絵】	234
【教訓書・教諭書】	217	【摺物】	236
【教科書】	217	【売薬版面】	236
【啓蒙書】	218	【芸能関係一枚摺】	236
【啓蒙書(近代)】	218	【番付】	236
7.56 諸道・諸芸	218	【読売】	236
【絵画】	218	【新聞錦絵】	236
【書道】	219	7.62 絵本・絵入本	236
【園芸書】	220	【雛形本】	237
【茶書】	220	7.63 芸能関係書	237
7.57 情報	220	【謡本】	238
【読売】	220	【歌舞伎関係書】	238
【祭礼番付】	220	【浄瑠璃本】	238
【海外情報】	220	【豊後節】	239
【官報・布達書】	220	【長唄・めりやす】	239
【新聞】	221	【箏曲・地歌】	240
【欧字新聞】	224	【俗謡】	240
7.58 歌書・物語等日本古典	224	7.64 雑誌	240
7.59 軍書	225		
7.60 文芸書	226	8. 流通	242
【漢詩文集】	226	8.1 近代	244
【狂詩・狂文集】	227	8.2 市	245
【歌集】	227	8.3 卸	246
【狂歌集・狂文集】	227	8.4 販売	246
【俳書】	228	【行商】	246
【雑俳書】	230	8.5 輸出	246
【御伽草子】	230	8.6 輸入・将来	246
【仮名草子】	230	【洋書】	248
【浮世草子】	230	8.7 価格	249
【読本】	231	【一枚摺】	250
【笑話本】	231	8.8 宣伝・広告	250
【談義本】	232	【近代】	251
【滑稽本】	232	8.9 仕入印	251
【人情本】	232	8.10 経本の流通	251
【草双紙】	232	8.11 和字書の流通	251
【草双紙(近代)】	233	8.12 芸能関係書の流通	252
【講談本】	233	8.13 草紙の流通	252
【実録体小説(明治)】	233		

【一枚摺の流通】	252	伊勢・津藩(藩校有造館)	272
8.14 暦の流通	253	尾張・尾張藩(徳川家、藩校明倫館)	272
8.15 教科書の流通	253	三河・刈谷藩(藩校文礼館)	272
8.16 新聞の流通	253	三河・吉田藩(藩校時習館)	273
8.17 媒介・交流	253	駿河・静岡藩(藩校明新館・静岡学問所)	273
【中世以前】	254		
<b>9. 享受</b>	255	甲斐・甲府藩(藩校徽典館)	273
9.1 集書・購書	256	近江・仁正寺藩(市橋長昭)	273
【書籍の貸借】	261	近江・彦根藩(伊井家、藩校弘道館)	273
【外国人の和書蒐集】	261	近江・膳所藩(藩校遵義堂)	273
【奉納・献納、寄進、勸化】	262	近江・大溝藩(藩校脩身堂)	273
【浮世絵の購入】	263	信濃の藩校蔵書	273
【近代】	263	信濃・須坂藩(堀家)	274
9.2 蔵書	263	信濃・松代藩(真田家)	274
【禁裏】	264	信濃・高遠藩(藩校進徳館)	274
【寺院】	265	上野・安中藩(板倉家、藩校造士館)	274
称名寺(金沢文庫)	267	下野・黒羽藩(藩校作新館)	275
真福寺大須文庫	267	常陸・水戸(徳川家、彰考館)	275
真宗諸寺院	267	陸奥・白河藩(藩校立教館)	275
寛永寺	268	陸奥・三春藩	275
【神社】	268	陸奥・会津藩(藩校日新館)	275
伊勢神宮	268	陸奥・米沢藩(藩校興讓館)	275
鹿島文庫	269	陸奥・米沢藩(上杉家)	276
羽田八幡宮文庫	269	陸奥・秋田藩(藩校明德館)	276
住吉大社御文庫	269	陸奥・伊達藩(藩校養賢堂)	276
多和文庫	270	蝦夷・松前藩	276
金刀比羅宮	270	越前・福井藩(藩校明道館)	276
【将軍・幕府諸機関】	270	越前・大野藩	276
紅葉山文庫(書物師)	270	越前・鯖江藩(藩校進徳館)	277
書物方	271	越前・勝山藩(藩校成器堂)	277
駿河御讓本、葵文庫	271	加賀・加賀藩(前田家、藩校明倫堂)	277
昌平饗の蔵書	271	加賀・大聖寺藩	277
蕃書調所・洋学所・開成所の蔵書	271	越後・高田藩(榊原家、藩校修道館)	277
和学講談所の蔵書	271	越後・新発田藩(溝口家、藩校道学堂)	277
【藩・大名、徳川諸家の蔵書、各藩校の蔵書】	271		
田安德川家	272	丹波・篠山藩(青山家)	278
和泉・岸和田藩	272	丹波・福知山藩(朽木家)	278
		播磨・姫路藩(榊原家)	278
		備前・岡山藩(池田家、藩校由学館)	278
		長門・萩藩(毛利家、明倫館)	278





角田九華	295	羽田文庫	301
天海	295	【新聞縦覧所・書籍縦覧所】	302
長澤伴雄	295	【図書館・文庫(近代以後)】	302
西川吉輔	295	京都集書院	305
沼尻墨僊	295	浅草文庫	305
蜂屋椎園	295	【蔵書印】	305
塙保己一	295	【蔵書票】	307
伴信友	295	【蔵書目録】	307
半沢久次郎	296	禁裏文庫蔵書	308
平賀源内	296	昌平學・和学講談所蔵書	308
藤沢泊園	296	大名・藩の蔵書	308
松井幸隆	296	藩校・郷校蔵書	308
松原葆斎	296	寺院蔵書	309
曲直瀬正琳(養安院)	296	個人(家)蔵書	309
宮本茶村	296	【蔵書の管理・保全】	311
村井古巖	296	9.3 読者	311
村上忠順	296	【近代】	313
屋代弘賢	296	【参考】	314
山鹿素行	296	9.4 読書	314
山田松斎	297	【近代】	318
山田純造	297	【会読】	319
山本亡羊	297	【講書】	319
矢盛教愛	297	【校合】	319
芳村杏斎	297	【音読】	319
吉見幸和	297	【読書法】	319
柳亭種彦	297	【読書に関する史料】	320
【蔵書家・愛書家(近代)】	297	9.5 経典・仏書の享受	320
木村正辞	298	9.6 辞書・字書の利用	320
外山正一	299	9.7 雑書・暦書の享受	321
【地域の蔵書】	299	9.8 農書・農政書の享受	321
出羽	299	9.9 教育関係書籍の享受	321
土佐	299	【近代】	322
琉球	299	9.10 一枚摺の享受	322
【外国人、海外のコレクション】	299	【地図】	322
アーネスト・サトウ	300	【読売の享受】	322
楊守敬	300	【浮世絵の享受】	322
フランク・ホーレー	300	9.11 新聞の享受	323
【文庫(近世以前)】	300	9.12 中世以前	323
了翁禪師	301		
射和文庫	301		

## 10. 統制……………324

- 10.1 禁令……………324
- 10.2 近世初期から前期にかけての統制……………324
- 10.3 近世中期の統制……………325
- 10.4 寛政以後の統制……………326
  - 【寛政改革時の統制】……………326
  - 【享和から文政期の統制】……………326
- 10.5 天保以後の統制……………326
- 10.6 禁書・絶版・筆禍……………327
- 10.7 近代の統制……………327
  - 【法規】……………328
  - 【訴訟】……………328
  - 【新聞・雑誌にかかわる統制】……………329
  - 【教科書の統制】……………329
- 10.8 統制に関わる諸機関、部署、役人……………330
  - 【蕃書調所・洋学所】……………330
  - 【改名主】……………330
- 10.9 本屋仲間内の統制と調整……………330
  - 【板株・蔵板、重板・類板】……………331
- 10.10 舶載書の統制……………333
- 10.11 洋学書の統制……………333
- 10.12 草紙類の統制……………333
  - 【極印・改印】……………334
- 10.13 版權……………334
- 10.14 著作権……………335

## 11. 書籍全般……………336

- 11.1 写本と版本……………338
- 11.2 地域別……………338
  - 【上野】……………338
  - 【加賀】……………338
  - 【琉球】……………339
- 11.3 中世以前……………339
- 11.4 貴重書解題・図録……………339

## 12. 写本……………340

- 12.1 写本の制作……………341
  - 【奈良絵本・絵巻の制作】……………342
  - 【編纂】……………343
  - 【稿本】……………344
  - 【版本に基づく写本】……………344
  - 【文書筆工】……………344
- 12.2 写本の流布……………344
  - 【献上】……………345
  - 【伝授】……………345
- 12.3 写本の統制……………345
- 12.4 類別……………345
  - 【書目】……………345
  - 【神書】……………345
  - 【仏書】……………345
    - 禪宗関係……………346
    - 日蓮宗関係……………346
    - 浄土教関係……………346
    - 浄土真宗関係……………347
  - 経本……………347
  - 縁起絵巻……………348
  - 【漢籍、儒学・漢学関係書】……………348
  - 【和学書】……………348
    - 歌学書……………349
  - 【考証学関係の写本】……………349
  - 【医書】……………350
  - 【算術書】……………350
  - 【洋学関係の写本】……………350
  - 【本草・天文学関係の写本】……………350
  - 【字書・辞書】……………350
    - 外国語辞書・外国語学書……………351
  - 【地誌・紀行】……………351
    - 紀行……………351
    - 寺社縁起……………352
    - 外国地誌……………352
  - 地図……………352
  - 【史書】……………352
    - 伝記……………353
    - 外国史書……………353

【農書】	353
【林業関係の写本】	354
【雛形本(建築関係)】	354
【政治・法令関係の写本】	354
法令	355
地方書	355
教訓書	355
【故実・礼法関係の写本、伝書】	355
【名鑑類】	355
【占卜書、暦・暦学書】	355
【兵書・武術書】	356
【軍書・軍記】	356
【隨筆】	357
【説話集】	357
【歌書・物語等日本古典】	357
評釈書・注釈書	359
【奈良絵本・絵巻】	360
【文芸】	361
漢詩集	361
俳書	362
雑俳書	362
【近世小説等の写本】	362
室町物語	362
実録体小説・通俗軍書	362
読本	364
人情本	364
咄本	364
地口本・口合本	364
【芸能関係の写本】	364
謡本等謡曲関係の写本	365
浄瑠璃本	365
歌舞伎台帳	365
歌謡の写本	366
講釈関係の写本	366
【教育関係の写本】	366
教訓書	366
文範集	366
往来物	366
手習の手本	367
【諸芸の写本】	367

書道関係の写本	367
印譜	369
香道	369
茶書	369
園芸書	369
料理書	369
【叢書】	369
【絵画】	369
【記録】	369
風説留・風聞集	370
文書	370

13. 刊本	371
13.1 中世までの版本	371
【春日版】	373
【高野版】	373
【五山版】	373
13.2 近世初期の版本	373
13.3 近代の出版物	374
【詩歌集】	375
【小説】	375
【翻刻本】	375
【翻訳書】	375
【雑誌】	376
13.4 きりしたん版	377
13.5 古活字版	378
【目録・解題】	381
【製作】	381
【流通】	382
【乱版】	382
【勅版】	382
【伏見版・駿河版】	382
【要法寺版】	382
【嵯峨本】	382
【経本(天海版・宗存版)】	383
13.6 古活字後の木活字版	384
13.7 金属活字版	385
13.8 銅版本	385
13.9 丹緑本	386

13.10 江戸版	386	【美濃・岩村藩】	394
13.11 大坂版	386	【美濃・大垣藩】	394
13.12 地方版	386	【信濃諸藩】	394
【大和】	387	【上野・安中藩】	394
【尾張】	387	【下野】	394
【駿河】	387	【常陸・水戸藩】	394
【遠江】	387	【陸奥諸藩】	394
【甲斐】	387	【陸奥・白河藩】	395
【伊豆】	387	【陸奥・津軽藩】	395
【相模】	387	【出羽・米沢藩】	395
【武蔵】	387	【出羽・会津藩】	395
【下総】	388	【蝦夷・松前藩】	395
【信濃】	388	【加賀・加賀藩】	395
【上野】	389	【越後・村上藩】	395
【常陸】	389	【長門・山口藩】	395
【陸奥】	389	【薩摩・鹿児島藩】	395
会津	389	【肥後・熊本藩(藩校時習館)】	395
岩代	389	13.17 私塾版	396
仙台	389	13.18 私家版	396
南部・津軽	389	13.19 明治政府による出版物	396
【加賀】	389	【文部省版】	396
【越後】	390	【開拓使版】	396
【紀伊】	390	13.20 都道府県による出版物	396
【伊予】	391	13.21 景物本	397
【播磨】	391	13.22 施本	397
【美作】	391	13.23 折本	397
【周防・長門】	391	13.24 袖珍本・豆本	397
【九州】	391	13.25 書袋	398
【筑前・筑後】	391	13.26 書目	398
【肥前】	391	【解題書目】	398
【薩摩】	391	【書籍目録】	398
【蝦夷・北海道】	391	【近代】	398
【琉球】	392	13.27 仏書	398
13.13 寺院版	392	【經本】	399
13.14 官版	393	【天台・日蓮宗関係書】	401
13.15 幕府代官による出版物	393	【浄土宗関係書】	402
13.16 大名・藩・藩校による出版物	393	【浄土真宗関係書】	402
【伊勢・津藩】	394	【密教関係書】	402
【駿河・静岡藩】	394	【禅籍】	403
【近江・彦根藩】	394	【略縁起】	403

【勸化本】	404	【京都の地誌】	421
13.28 キリスト教関係書	405	【大坂の地誌】	421
13.29 漢籍・漢学・儒学書	405	【江戸の地誌】	421
【孝経】	407	【大和の地誌】	421
【和刻本】	407	【兵庫の地誌】	421
【注釈書】	408	【甲斐の地誌】	421
13.30 神書	408	【常総の地誌】	421
13.31 和学書	409	【越後の地誌】	421
【宣長本】	410	【備中の地誌】	422
【篤胤本】	410	【肥前の地誌】	422
13.32 随筆・考証学関係書	410	【琉球の地誌】	422
【歳時考証】	410	【名所図会】	422
【集古十種】	410	【紀行】	422
13.33 洋学書	410	【道中記】	422
【兵学書】	412	【案内記】	423
13.34 外国語辞書・参考書	412	【寺社縁起】	423
【蘭語】	412	【漂流記】	424
【仏語】	412	【買物案内】	424
【英語】	413	【近代の地誌】	424
【独語】	415	13.42 名鑑	424
13.35 理学書	415	【武鑑】	424
【気象関係書】	415	【役人附】	425
【天文関係書】	415	【官員録】	425
【本草書】	415	【遊女評判記】	425
【近代】	415	【吉原細見】	425
13.36 算法書	416	【吉原以外の細見】	425
13.37 医書	417	【人名録】	425
【養生書】	418	13.43 字書・辞書・事典	426
13.38 政治・法令関係書	418	【玉篇・和玉篇】	427
【法令・法律書】	418	【節用集】	428
【地方書】	418	【韻書】	430
13.39 兵法書	418	【アイヌ語辞書】	430
【洋式兵法書】	419	【近代の辞書・字書】	431
13.40 史書	419	13.44 暦類	431
【伝記】	419	【伊勢暦】	432
【年表】	419	【三島暦】	432
【外国史】	420	【薩摩暦】	432
13.41 地誌	420	【南部絵暦・田山暦】	432
【外国地誌】	420	13.45 暦書・占卜・俗信	433
【全国】	420	【雑書】	433

13.46 農書	434	13.56 漢詩文集	456
【蚕書】	435	【近世の漢詩文集】	456
【救荒書】	435	【明治の漢詩文集】	457
13.47 経済学書	436	【狂詩集】	457
13.48 鉱業関係書	436	【詩学書】	457
13.49 建築土木関係書	436	13.57 俳書	457
13.50 教育関係書	436	【明治の俳書】	460
【往来物】	437	【雑俳書】	461
【教科書】	440	13.58 軍書・軍記	461
【参考書・指導書】	442	【保元物語・平治物語】	462
【文範集】	442	【平家物語】	462
【躰・礼法書】	442	【義経記】	463
【教訓書・教諭書】	442	【太平記】	463
【善書】	443	【曾我物語】	463
【心学関係書】	444	【信長記・太閤記】	463
【孝行もの】	444	【甲陽軍鑑】	464
【明治期の啓蒙書】	444	13.59 近世小説	464
13.51 重宝記・智術書	445	【御伽草子】	464
13.52 諸道・諸芸の版本	445	【仮名草子】	464
【法帖・書論・書学書】	445	【浮世草子】	466
【印譜】	450	【読本】	466
【囲碁・将棋関係書】	450	曲亭馬琴の読本	468
【園芸書】	450	【談義本】	468
【料理書・菓子書】	450	【洒落本】	468
【華道書】	450	【笑話本】	468
【茶書】	450	【滑稽本】	469
13.53 歌書物語等日本古典の版本	451	【人情本】	469
【伊勢物語】	452	【絵入根本】	470
【源氏物語】	452	【草双紙】	470
【枕草子】	453	赤本・黒本・青本	471
【徒然草】	453	黄表紙	473
13.54 和文・和歌集	453	合巻	473
【百人一首】	454	上方版の草双紙	475
【和漢朗詠集】	454	豆合巻	475
【近世期和歌集】	454	明治期の草双紙	475
【明治期和歌集】	455	【艶本】	476
【歌学書】	455	【地口本・口合本】	476
【連歌書】	455	【俄本】	477
【狂歌集】	455	【謎の本】	477
13.55 詩歌集	456	13.60 芸能関係の版本	477

【謡本・狂言記】	477	【甘雨亭叢書】	501
【歌舞伎関係の書籍】	478	13.65 標本	501
絵尽・絵本番付	479		
正本写	480		
番付	480		
評判記	480		
せりふ本・鸚鵡石	481		
絵入根本	481		
【からくりの資料】	481		
【浄瑠璃関係の版本】	481		
説経浄瑠璃	482		
土佐浄瑠璃	482		
浄瑠璃番付・絵尽	482		
浄瑠璃本	482		
古浄瑠璃	484		
近松本	484		
一中節	485		
河東節	485		
新内節	485		
宮古路節	485		
豊後節	485		
【長唄・めりやす・荻江節】	486		
【近世歌謡・俗謡唄本】	491		
【和讃・道歌】	493		
【箏唄・地歌本】	493		
【近代音楽の刊本】	493		
13.61 絵本・絵入本	493		
【画譜・絵手本】	496		
【銅版・石版画帖】	497		
【幼童向けの絵本】	498		
【雛形本】	498		
【ちりめん本】	498		
13.62 草紙類いろいろ	499		
13.63 情報の冊子類	499		
【官報】	499		
【新聞】	500		
欧字新聞	501		
13.64 叢書	501		
【群書類従】	501		
【丹鶴叢書】	501		
		14. 一枚摺	502
		14.1 私家版	502
		14.2 地図	502
		【世界図】	503
		【日本図】	503
		【国図】	503
		【都市図】	503
		【大和の地図】	503
		【大坂図】	503
		【江戸図】	503
		切絵図	504
		【横浜図】	504
		【道中図】	504
		【名所図】	504
		【寺社境内図】	504
		【明治期の地図】	505
		【海図】	505
		14.3 浮世絵	505
		【明治期の浮世絵】	506
		【役者絵】	507
		【武者絵】	509
		【名所絵】	509
		【相撲絵】	510
		【源氏絵】	510
		【美人絵】	510
		【遊女絵】	510
		【風刺画】	510
		【歴史絵】	510
		【極印・改印】	511
		【上方絵】	511
		【長崎版画】	511
		【横浜絵】	512
		【地方祭礼絵】	512
		【有卦絵】	512
		【疱瘡絵・麻疹絵】	512
		【玩具絵】	513

組上絵	513	布達類	534
双六	513	新聞	535
【判じ絵】	514	15.4 内容	536
【団扇絵】	514	【災害情報】	536
【情報・世相】	514	【時局・世相】	536
新聞錦絵	515	【海外情報】	537
【売薬版画】	516	【広告】	541
【参考】	516	15.5 情報環境	541
14.4 銅版画	516	15.6 近代	542
14.5 石版画	518	【メディア】	542
14.6 仏教版画・神道版画	519	15.7 情報に関わる統制	543
【縁起画】	519		
【摺仏】	519		
14.7 宝船	519		
14.8 千代紙・小間紙・唐紙	519		
14.9 御札	519		
【千社札】	520		
14.10 摺物	520		
【狂歌摺物】	520		
【俳諧摺物】	520		
14.11 引札	521		
14.12 一枚摺の名鑑	521		
14.13 一枚摺戯作	522		
14.14 芸能関係の一枚摺	522		
【芝居の番付】	522		
14.15 芝居以外の番付	523		
14.16 読売、かわら版	523		
14.17 掛図	524		
14.18 曆	525		
<b>15. 情報</b>	526		
15.1 収集・蓄積	527		
15.2 整備・発信、伝達・流布	529		
15.3 媒体	531		
【写本】	531		
【刊本・一枚摺】	531		
読売・瓦版	532		
錦絵	533		
官報	534		
		<b>16. 史料</b>	544
		16.1 環境	544
		【教育に関わる史料】	544
		藩校	544
		手習塾・私塾	544
		皇学所	544
		近代の学校	544
		16.2 板木に関わる史料	545
		16.3 印刷史の史料	545
		16.4 諸職に関する史料	546
		【画工】	546
		【彫工】	546
		【製本師】	546
		【表紙屋】	546
		16.5 本屋・版元・本屋仲間に関する史料	546
		【京都】	546
		【大坂】	547
		【江戸(東京)】	547
		【名古屋】	548
		【その他の地域】	548
		【貸本屋に関する史料】	549
		16.6 出版に関する史料	550
		【開版経緯】	551
		校正	553
		【藩版】	553
		【施版】	553



【近代の出版史料】	553	17. 書誌・書誌学	570
16.7 流通に関する史料	555	17.1 書誌学全般	570
【輸出入に関する史料】	556	17.2 書型	570
【広告に関する史料】	556	17.3 装幀・綴	571
16.8 統制に関する史料	556	17.4 表紙	572
【近代の統制に関する史料】	556	17.5 外題・題簽	573
16.9 情報に関する史料	557	17.6 書袋	573
【海外情報】	557	17.7 見返	573
16.10 書目類	557	【魁星印】	573
【解題書目】	557	17.8 料紙	573
【書籍目録】	557	17.9 印刷様式	575
【出版書目】	557	【印刷の顔料】	575
【蔵版書目】	558	17.10 版面	575
【販売書目】	558	17.11 前付・本文・後付	576
【貸本屋の書目】	558	【挿絵】	576
【著作目録】	558	17.12 奥付・刊記	576
【禁書目録】	559	17.13 刊・印・修	576
【仏書の書目】	559	17.14 板木	576
【漢籍の書目】	559	17.15 表具	576
【農書の書目】	559	17.16 用語	577
【俳書の書目】	559	【装幀】	577
【草双紙の書目】	559	17.17 分類	577
【演劇関係書の書目】	559	17.18 整理・記述方法、工具書	578
【蔵書目録】	559	【漢籍】	578
【読書目録】	565	【法帖】	578
【購書目録】	565	【一枚摺】	579
【献納書目】	565	歌舞伎番付	579
16.11 享受に関する史料	566	地図	579
【集書・購書に関する史料】	566	浮世絵	579
【読書に関する史料】	567	改印	579
【文庫に関する史料】	567	17.19 書誌学史・考証学史	579
【図書館に関する史料】	568	【伊澤蘭軒】	580
16.12 写本に関する史料	568	【狩谷菴斎】	580
【写本の編纂・製作に関する史料】	568	【近藤正斎】	580
16.13 刊本に関する史料	568	【澁江抽斎】	580
【草双紙に関する史料】	568	【藤貞幹】	581
16.14 書誌学史・考証学に関する史料	568	【吉田篁墩】	581
		【屋代弘賢】	581
		【近代以後】	581

18. 参 考	583
18.1 研究方法	583
18.2 調査・整理	584
【目録作成・公開】	585
【保存・修理】	585
18.3 研究史	586
【教育史】	587
【研究動向】	587
18.4 現蔵書	587
【海外】	587
18.5 和古書目録	589
【寺社の蔵書】	599
【心学講舎の蔵書】	600
【在外和古書】	600
【仏書】	601
【神書・和学書】	601
【漢籍】	602
【キリスト教関係書】	603
【医書】	603
【農書】	604
【兵書】	604
【洋学関係書】	604
【算術関係書】	604
【教育関係書】	604
【文芸関係書】	605
【芸能関係書】	609
【一枚摺】	611
18.6 文献目録	612
【教育】	612
【仏書】	613
【字書・辞書】	613
【一枚摺】	613
18.7 標本集	613
【零葉集】	613
18.8 講演記録等	614
18.9 時評	614
18.10 書評・紹介	615